

日刊 動労千葉

83. 5. 17

No. 1340

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三六・（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

中江選挙闘争の勝利を新たな出発点に、83春闘・反合・国鉄労働運動解体攻撃粉碎の闘いに決起しよう

※※※

動労千葉は五月十四日、第九回支部代表者会議を開催し、中江選挙闘争の中間総括と83春闘・反合・国鉄労働運動解体攻撃粉碎にむけた当面の取り組みについて、次の通り決定しました。

※※※

I 中江選挙闘争の中間総括

動労千葉結成以来、初の組織内候補Ⅱ中江昌夫を船橋市議会へ送りこむ闘いは、六カ月間の激闘が見事に結実し、第四位（三八九六票）という高位当選をかちとりました。

中江選挙闘争勝利の核心的意義は、

第一に、動労千葉の基本軸である「反合・三里塚を基軸にすえた労働運動路線」の正義性と勝利性を満天下に明らかにしたこと、

第二に、反動中曽根内閣と対決する政治決戦として闘い、中曽根内閣打倒の突破口を築きあげたこと、

第三に、革マル及び動労「本部」革マル反動分子の一切の敵対・破壊を完全に粉碎し、国鉄労働運動防衛・発展Ⅱ動労大改革の前進をつくり出したこと。

第四に、日帝・三井・下稲葉体制の弾圧を粉碎して勝利したこと。

第五に、動労千葉がこの中江選挙闘争をもって、労働運動、政治勢力としての位置を高めたこととあります。

この闘いの勝利は、動労千葉一三〇〇組合員、家族、および全支援勢力による血と汗の結晶です。と同時に、闘いの勝利は新たな闘いへの出発点であるとの観点にたつて、反動中曽根内閣打倒、国鉄Ⅲ三里塚決戦勝利へのほりつめていくようではありませんか。

以上の総括的視点をもって、職場討議を深めつつ当面する五ノ六月闘争へ全力をあげて取り組みを開始しよう。

II 83春闘・反合・国鉄労働運動解体攻撃粉碎の闘い

① 83春闘について

83新賃金について、国鉄当局は四月二五日、大合理化を前提条件に定昇込みで二・八％、金額にして五六〇六円という史上最低の回答を行いました。

公労協は四月二七日公労委に調停申請し、五月

九日、十一日の事情聴取に基づき、十二日の合同調停委員会は公労協平均四・一三％（国鉄四％Ⅱ八三五六円）を示しました。しかし調停作業は前進せず、「調停不調と『四・一三％』も含めた内容を白紙にもどす」ことを確認し、五月十七日の公労委定例総会で協議することとなりました。

動労千葉は第六回定期委員会において、83春闘を単に賃上げだけにとどめず、中曽根内閣の反動攻撃と対決する立場から三里塚Ⅰ反合・中江選挙闘争として闘う方針を決定し闘い抜いてきました。従って、中江選挙闘争の勝利は、83春闘の成果として、全組合員が確認するとともに、当面「合理化」「職場規律の確立」を許さず、要求額の獲得にむけて闘っていくこととします。

② 乗務員合理化Ⅱ「動乗勤務制度改悪」反対の闘い

この攻撃は検修合理化に続く、乗務員の勤務制度の全面改悪であり、乗務員の大巾削減と労働強化を狙う運転職場の全面合理化攻撃です。

当局は、六月十日までに中央交渉妥結を強行し、九月中に地方交渉を詰め、59・2時改に合わせて実施せんとしています。

動労「本部」革マル反動分子の裏切りを許さず、「動労千葉申第13号」の取り組みを中心に内達対策委員会を活用し、総力をあげた闘いを展開していくこととします。

③ 雇用安定協定破棄反対の闘い

当局は新期採用のストップに加え、採用試験をすませずで臨時採用している者（千鉄局47名）の五月末一方向的契約破棄を強行する動向にあります。

動労千葉は該当の組合員がいなくとも、見過ごせぬ問題として、国労共闘を追求し闘いを強化していくこととします。

（裏面につづく）

④ 「運転適性検査」反対の闘い

当局の「4月1日実施」を粉砕してきましたが、国・動労中央はすでに「4月中決着に向けて交渉を行う」確認をしています。

この攻撃が、乗務員の他職への強制配転問題を内包していることから、当局提案の撤回を求めて闘いぬくこととします。

⑤ 「時間内入浴規制」反対の闘い

当局が団交に応じたことから、国労は4月19日闘争を一旦中止し、九州・関東地調委への提訴を取り下げました。

動労千葉は津田沼、幕張支部を中心に、全国で唯一国労共闘により勝利的闘いを展開してきた経過にふまえ、今後も労働条件Ⅱ既得権として当局を追及し、長期的に原則的闘いを継続していくこととします。

⑥ 「職場規律の厳正」攻撃反対の闘い

当局は、動労千葉が一九七二年の「船橋事故」闘争Ⅱ高石君無罪―運転保安確立闘争以来一貫して闘い続けてきた乗務カバン・ステッカー、およびワッペン闘争に対する介入を強めてきています。

国鉄労働運動解体攻撃が激化してきている情勢を全組合員がしっかりとらえ、これをはねかえす組織体制の強化をかちとるとともに、カバン・ステッカー、ワッペン闘争貫徹の闘いを強化していくこととします。

⑦ ジェット燃料貨車輸送阻止闘争について

政府・空港公団は、パイプライン完成により、6月1日一部供用開始、8月本格供用を発表しました。

これをうけて国鉄当局は、ジェット燃料貨車輸送全面廃止に伴う「ダイ改」の強行実施を画策しています。

動労千葉は、この間の闘いの路線を堅持し、三里塚闘争勝利にむけた闘い貫徹していくと同時に、ジェット燃料貨車輸送廃止に便乗した合理化を認めない闘いをつくり出し、当面、5・22三里塚闘争をあらたな闘いの突破口として位置づけて闘うこととします。

⑧ 59・2「ダイ改」闘争

貨物合理化を中心とする「58・Xダイ改」は、「貨物全廃につながる合理化であり絶対認めない」との立場から当局を追及してきました。

動労千葉は「動乗勤務制度改悪」阻止の闘いとともに、組織をかけた闘いとして断固たる闘いを展開していくこととします。

⑨ 家族組合結成―地域班結成に向けた闘い

中江選挙闘争に総力決起し、四月上旬目途の結成がおくれましたが、五月上旬の結成にむけ全力で取り組むこととします。

⑩ 各支部は、支部代表者会議終了後、五月三十一日まで職場集会を開催し、全組合員の意志統一をはかることとします。

Ⅲ 参議院選挙等の取り組みについて

① 県労連・県選対の要請をうけて、すでに推薦決定している参議院議員候補（社会党公認・千葉地方区）糸久八重子氏の勝利にむけ、積極的に取り組むこととします。

② 市原市議選に、社会党公認で立候補する、高橋利美候補を動労千葉として推薦することとします。

当面するスケジュール

5月18日	第14回「組合費」公判・東京地裁
5月20日	第17回「6・12」公判・千葉地裁
5月22日	三里塚現地全国総決起集会
5月23日	狭山中央集会・東京 明治公園
5月26日	ボーリング大会・津田沼ファミリ ーレイン
6月2日	野球大会（一―二回戦） AⅡ千葉市公園球場
	BⅡ千鉄更科球場
6月15日	野球大会（準決勝・決勝） 天台軟式球場